

審査委員
特別賞

広島県

穂垣 友康・穂垣 貴子

くらし設計室

【作品名】
三つ庭の家



設計	くらし設計室
施工	ホーム株式会社
竣工日	2017年2月23日

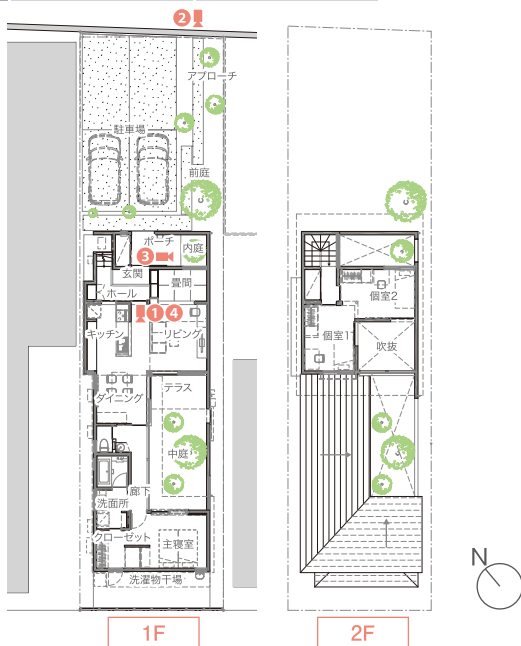
◎建物概要

建設地	広島県福山市	延床面積	110.61㎡
敷地面積	224.75㎡	構造・規模	木造2階建

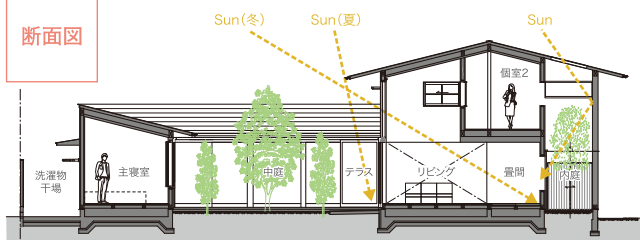
◎設備面の特記

厨房機器	IHクッキングヒーター	
給湯機器	エコキュート	
冷暖房機器	エアコン	床暖房(ヒートポンプ式)

平面図



断面図



① 中庭を中心にコの字型にリビング、キッチン、ダイニング、廊下、主寝室が配置されている。



② 道路からエントランスまでのアプローチは前庭とし、四季折々の花木が出迎える。



③ 自然と一体化した暮らしをめざし、内庭も設けた。上部の天窗と東の開口部から光が差し込む。



④ 東側の袖壁と1階分の高さの壁が自由な開口をつくる防火壁となる。中庭とつながる木製サッシの窓まわりにより、採光を確保し、眺望も生み出している。

設計コンセプト

広島県福山市の緑豊かな公園が集まる中心部。ビルや住宅が混在する市街地であり、前面道路は車や人の通りが絶えない。周囲には古い建物や空地があるため、将来的な周辺の変化に左右されず、プライバシーを守りながら豊かに暮らすことのできる普遍的な場所をめざした。周辺状況が変化しても採光通風を確保できる中庭をつくり、全ての部屋を中庭に対してコの字型で開く「中庭を中心に広がる暮らし」を提案した。中庭の自然と一体となり、広がりを感じながら暮らすために大切なのは窓まわりのデザインである。この敷地は

準防火地域にあるため、敷地東側に防火壁を設けることで延焼ラインを避けた中庭をつくり、庭を中心に広がる自由な「木製サッシ」の開口部を実現した。リビングの吹抜空間に設けた大窓は中庭とつながり、冬は太陽の光を奥の部屋まで取り込む役割を果たす。大窓の熱損失低減のため、遮蔽には「断熱ロールスクリーン」という形式をとった。ロールスクリーンの左右の隙間からの窓温度の侵入を防ぐため、柱にガイドレールを取り付け、その溝の中を布が通る納まりとすることで左右の隙間を無くしている。これによりガラスとロールスクリーン

の間に空気層をつくり断熱性を確保した。この家には、中庭以外に暮らしを豊かにする2つの庭がある。玄関ポーチと一体化した内庭は、畳間からの緑の景色をつくり、中庭から内庭への風の流れを生みだしている。もう一つの庭は道行く人にも心地よいと感じてもらえる街へとつながる前庭である。仕事や学校、買物から帰宅した家族を、四季をめぐる前庭の緑や草花が出迎えてくれる…そんな生活の風景が豊かだと考える。

審査委員講評

南北に細長い敷地にさらに奥行きを感じさせる住宅。生活の様々なシーンを想定して、1/100レベルの計画から1/1のディテールまで細やかに対応された完成度の高い作品です。